



コロンビアの悩みと 明るい未来

1月19日（火）、旭陽公民館で国際理解出前講座を実施しました。講師は富永雅久さんで、JICAのシニア海外ボランティアとして支援活動を行った南米のコロンビア共和国についての話でした。講座にはコロンビアに、または異文化に興味がある20名の方々が参加されました。

講座の内容は多岐に渡りました。1つは、講座のタイトルでもある“悩み”です。街を歩くと時々麻薬の匂いがすること、買い物の際、お札で払う



たびに偽札ではないか確認されることなど、講師自身の経験も交えながら治安の悪さが悩みであると指摘しました。

もう1つのタイトルである“明るい未来”については、平均年齢が24歳という若者が多い国であること、2016年の政府と反政府側との和平合意後、治安の改善により海外からの投資が増えつつあり、豊かな観光資源が外貨獲得に役立つと期待されていることなどが紹介されました。

また、約束の時間に30分遅れても悪びれる様子がないこと、週末は外から聞こえてくる大音量の音楽など、滞在中に数えきれないほど経験した異文化体験についての話もあり

ました。最初は、理解しがたい異文化的な習慣もあり、悩んだそうです。しかし、明るい顔付きのコロンビア人に囲まれ、最大限に生活を楽しむ彼らを見て、学ぶべきところもあったと締めくくりました。

参加者のみなさんは、最後まで熱心に聞き入っておられました。

